

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期加西市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

兵庫県加西市

3 地域再生計画の区域

兵庫県加西市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は、1986年度の53,056人をピークとして減少が続いており、住民基本台帳によると2025年10月1日時点では、41,071人となっている。国立社会保障・人口問題研究所が示す将来人口推計によれば、2030年には37,699人、2070年には17,130人と現在の半分以上の人口が減少することが見込まれている。

本市の高齢化率は2020年時点で33.7%であるが、今後も年少人口と生産年齢人口は減少傾向であることから、さらに高齢化率の上昇が見込まれる。一方で65歳以上の高齢者人口は既にピークに達しているとみられ、75歳以上人口についても2030年頃にピークを迎え、それ以降は減少傾向に転じると見込まれるが、社会保障費の負担や医療・介護需要の増大が見込まれる。

自然動態をみると、2003年度より死亡数が出生数を上回る状況が続いており、近年の出生率低下と相まって、人口減少の大きな要因となっている。出生数減少の理由としては、若年女性人口の減少のほか、未婚率の高さ、有配偶出生率の低さなどが挙げられる。

社会動態をみると、これまで転出超過の状況が続いていたが、人口増対策の推進によりその差は縮まり、2018、2022、2023年度には転入超過となった。しかしながら、2024年度は再び転出超過となっている。本市を含む北播磨圏域の傾向として、就職期にあたる20歳台前半の女性の転出超過が大きな課題となっており、生活利便性や働きたい職種の有無などを背景として、若年女性が都市部に移動するといった傾向がみ

られる。さらに、近隣市町と比較して結婚期にある20歳台後半の女性人口の転入率が低く、一方で同年代男性の転出率は高くなっており、結婚時の市外流出が大きな課題となっている。

生産年齢人口において、市内在住の従業者数が減少する一方で、市内事業所の従業者数(近隣市町在住者を含む雇用数)は横ばいとなっており、昼夜間人口比率が107.5%(県下3位)となっている。市内在住の従業者が、希望の職種や働きやすい職場環境等を求めて市外へ流出していることが考えられる。それに加えて、ものづくり産業の盛んな本市では、市内企業において外国人労働者の受け入れが進められており、2024年末の外国人総人口は1,644人で、市内在住の外国人人口は増加傾向にある。

このようなことから、本市においては今後も人口減少や少子高齢化が見込まれ、社会保障費の増加や人材の確保などの課題が顕著になることが予想される。また、地域の担い手不足による地域コミュニティの希薄化が懸念されるほか、地域経済では、労働者不足によるものづくりを中心とした地域産業の衰退や労働人口の流出などによる更なる少子高齢化が加速するものと見込まれる。

これらの課題に対応するため、本市では、「地域の魅力と生活利便性を高めることで、市民のウェルビーイング向上を目指す」ことを基本方針に掲げる。その実現に向け、若者や女性に選ばれる環境づくり、多様な主体が連携して価値を創る協創の推進、互いを認め合う地域社会の形成、そしてデジタル技術を活用した行政サービスと生活利便性の向上に取り組み、誰もが豊かに暮らし続けられるまちを実現する必要がある。

なお、これらに取り組むにあたっては、「生活(くらす・はぐくむ)」、「仕事(はたらく)」、「交流(つながる)」、「共生(ささえあう)」の4つの基本目標掲げ、それぞれの目標ごとに複数の施策をパッケージにして事業を推進するものとし、各施策が相互に連携して相乗効果を発揮することで、本計画期間における目標の達成を目指す。

- 基本目標1 若いひとの暮らしやすい！育てやすい！をかなえるミライナカ
- 基本目標2 若者・女性が輝く新しい働き方で次代をリードするミライナカ
- 基本目標3 自分らしい生き方が集まる！つながる！つくる！ミライナカ
- 基本目標4 時代に合ったやり方でいつまでも豊かで快適なミライナカ

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2030年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	10月1日時点の0～5歳人口（外国人を含む）	1,303人 (R7)	1,065人	基本目標1
ア	20～44歳（日本人）の社会増減（転入数－転出数）※年次集計	▲149人 (R6)	▲96人	基本目標1
イ	若者の人口維持率（n年の26～28歳人口／（n-10）年の16～18歳人口（日本人のみ、各年10月1日時点））	62.9% (R7)	64.9%	基本目標2
イ	市内事業所の従業員のうち、女性の占める割合（外国人労働者を除く）	34.5% (R6)	40.0%	基本目標2
ウ	観光入込客数	1,136千人 (R6)	1,260千人	基本目標3
ウ	公的に位置づけられた審議会等における女性委員の割合	24.2% (R6)	35.0%	基本目標3
エ	建築確認の届出があった新築一戸建ての総戸数	60戸 (R6)	80戸	基本目標4
エ	公共交通の利用者数（鉄道、バス、地域主体型交通）	422.8千人 (R6)	430.6千人	基本目標4

※KPI「10月1日時点の0～5歳人口（外国人を含む）」については、出生数の低迷や若年層の流出が続く中でも、本市が取り組む施策効果による子育て層の流入増を見込んで設定している。

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

加西市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 若いひとの暮らしやすい！育てやすい！をかなえるミライナカ推進事業

イ 若者・女性が輝く新しい働き方で次代をリードするミライナカ推進事業

ウ 自分らしい生き方が集まる！つながる！つくる！ミライナカ推進事業

エ 時代に合ったやり方でいつまでも豊かで快適なミライナカ推進事業

② 事業の内容

ア 若いひとの暮らしやすい！育てやすい！をかなえるミライナカ推進事業

若いひとの想いを受け止め、出逢いから結婚、出産、子育て、教育を行政と地域や企業が一体となって応援する体制を整え、若者が将来に希望をもって暮らせるよう支援する事業

【具体的な事業】

- ・結婚から子育てまでの切れ目ないサポート事業
- ・子育て応援5つの無料化事業
- ・加西の教育3本の矢事業、学校再編事業
- ・若者移住定住推進事業 等

イ 若者・女性が輝く新しい働き方で次代をリードするミライナカ推進事業

新しい価値を創造するものづくり産業を支援するとともに、多様な働き方を推進し、誰もが能力を活かしながら働き、新しいことにチャレンジできる環境を整備する事業

【具体的な事業】

- ・地域産業経済基盤強化事業
- ・就労支援、雇用対策事業
- ・企業誘致、起業創業支援事業 等

ウ 自分らしい生き方が集まる！つながる！つくる！ミライナカ推進事業

多様な価値観を認め、地域を支える人材との協創により地域課題の解決や魅力向上を図り、交流人口や関係人口を増やして地域を活性化させ

る事業

【具体的な事業】

- ・観光振興事業
- ・関係人口創出事業、移住促進事業
- ・多様性社会（女性活躍、多文化共生）推進事業
- ・芸術・文化・スポーツ推進事業
- ・市民参画推進事業
- ・広報・公聴、情報発信事業 等

エ 時代に合ったやり方でいつまでも豊かで快適なミライナカ推進事業

子育て、教育、医療、福祉、交通、防災など生活のあらゆる分野において行政サービスの効率化と生活利便性の向上を図り、豊かで快適な暮らしを創造する事業

【具体的な事業】

- ・住環境整備事業
- ・DX 推進事業
- ・地域経済循環促進事業
- ・健康推進事業、新病院建設事業
- ・公共交通インフラ整備事業
- ・福祉対策事業（高齢者福祉・障がい者福祉、自立支援等）
- ・防災防犯対策事業 等

※なお、詳細は第3期加西市地域創生戦略のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

2,500,000千円（2026年度～2030年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年6月頃に外部有識者による効果検証を行い、今後の取組方針を決定する。検証後は市ホームページで公表する。

⑥ 事業実施期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで

6 計画期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで